

## 7月臨時教育委員会会議録

- |   |       |                                     |                |
|---|-------|-------------------------------------|----------------|
| 1 | 日 時   | 令和元年7月12日(金)                        | 午後1時30分から4時00分 |
| 2 | 場 所   | 磐田市役所西庁舎 303 会議室                    |                |
| 3 | 出席委員  | 村松啓至教育長 鈴木好美委員 秋元富敏委員 青島美子委員 杉本憲司委員 |                |
| 4 | 出席職員  | 学校教育課長 学校教育課主幹兼指導グループ長 指導主事         |                |
| 5 | 傍 聴 人 | 0人                                  |                |

### 1 開会

### 2 議事

#### ・議案第16号「小学校教科用図書及び「特別の教科 道徳」を除く中学校教科用図書の採択について」

○本日の議案は、小学校教科用図書及び「特別の教科 道徳」を除く中学校教科用図書の採択についてである。説明願う。

○本日は、小学校が来年度から4年間使う教科書についての採択を行う。あわせて中学校の教科書について、来年度1年間使うものについて採択を行う。「特別の教科 道徳」についての採択は昨年度行ったためない。しかし、その他について、新たな申請はないが、継続してよいかどうかについてあわせて協議してもらおう。

○議案第16号は、小学校教科用図書及び「特別の教科 道徳」を除く中学校教科用図書の採択に関する議案である。共同採択地区の袋井市及び森町教育委員会の審議に影響が出る可能性があることから、地教行法第14条7項の規定により、本議案に係る審査は非公開で行いたいと思うが、異議はないか。

#### ※委員一同異議なし

○それでは、本議案に係る審議を非公開とする。

○無償措置法第12条第1項により採択地区を設定し、磐田市、袋井市、森町で共同採択を行う。同法第13条第5項により採択地区内の市町教育委員会は、協議し種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならないとされている。同一採択地区内の市町教育委員会の間で協議を行う方法として「地区教科用図書採択連絡協議会」を設け、採択案を協議し、建議をする。

今回は小学校の教科用図書すべてと中学校の「特別の教科 道徳」を除くすべての教科用図書の採択を行う。教科書採択においては、磐田、袋井、森町を同一採択地区として、各市町の教育長、校長代表、PTA代表で組織された連絡協議会が組織された。第2回連絡協議会では、教科書研究委員より調査研究の報告を受け、教科書採択案を決定した。本日はその採択案を協議し、決議する。

次に、資料について説明をする。資料は2種類ある。資料1は、臨時教育委員会資料である。裏面には、現在使用している教科用図書一覧を載せてある。

資料2は、令和元年度教科書研究委員会研究報告書である。この報告書は、研究委員が4日間をかけて、県の教科用図書専門調査委員会から出されている教科用図書採択基準等にそって、す

すべての教科書を調査研究し、研究報告書を作成した。調査研究の観点は、1が「内容」、2が「組織、配列、分量」、3が「児童の発達の段階への配慮」を表している。

その他に、資料として、小学校の教科用図書見本、教科書調査研究報告書、教科書見本本巡回調査研究まとめ、教科書展示会意見書がある。

報告は、指導主事が連絡協議会で推薦する採択案及び採択理由を述べるので協議願う。

○7月4日に研究を行った。その研究をもとに考えてほしい。それでは、磐田周智地区教科用図書採択連絡協議会より提出された資料をもとに、採択案の報告後、採択を行っていく。報告を願う。

○国語の教科書について報告する。報告書の1ページを見てほしい。

002 東書 新しい国語

011 学図 みんなと学ぶ 小学校国語

017 教出 ひろがる言葉 小学国語

038 光村 小学校 国語

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は光村図書の教科書であることを報告する。理由は3点ある。

一つは、見通しをもって学習を進めることで、より子どもが主体的に学べる教科書となっているからである。具体的に説明する。調査報告書の2ページ、4年生上の15ページ「白いぼうし」を見てほしい。ここでの目標は、場面と場面をつなげて考えたことを話すことである。15ページ扉の右上に目標が書かれ、左側には、子どもを学びにいざなう簡単な文が書かれている。26ページを見てほしい。その目標を達成するために「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習過程が分かりやすくまとめてある。下段には活動例が示されているため、子どもは具体的にどのような学習をしていけばよいか見通しをもって学習を進められる。この流れは、全ての読み物教材に共通であり、他の単元も同様に学習の過程がはっきり子ども自身に理解できるように記述してある。更に学習の過程で対話が重視され、子どもが様々な人と意見を交わしながら、自分の考えを深めていく学習が設定されている。

第2の理由として、つながりを意識した教材・単元の配列により、身に付けた力を次の学習で生かしたり、他教科の学習とつなげたりする工夫がされているからである。3年生上50ページ単元「こまを楽しむ」を見てほしい。第1教材として「言葉で遊ぼう」で段落の働きについて学んだあと、「こまを楽しむ」でその力を確かめながら読み進めていくことができる。更に1年生下28ページ「じどう車しらべ」を見てほしい。ここでは、自動車について説明する文章を読んだ後、今度は「じどう車ずかんをつくろう」で説明する文章を書く学習をする。このように「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」をつなげる意図で配列されたところが随所にある。学んだことを生かし、更に学びを広げていくことができるようになっている。

第3の理由として、読書生活、情報の扱い、豊かな語彙等、これから、より求められる国語科教育の充実につながる工夫がされているからである。3年生下144ページ「本の世界を広げよう」を見てほしい。このように、各教科書の巻末には、子どもが読みたくなるような本の紹介がしてある。また、5年生148ページを見てほしい。「情報」として、「統計資料の読み方」がまとめられている。その前には資料を用いた説明文を読み、そのあとには資料を用いたレポートを書く学習を展開する。このように情報の扱い方について、学年に応じ整理され、無理なく学べるようになっている。更に、同じ5年生293ページには見開きで「言葉の宝箱」がある。これは、2年生以上

の教科書に設置されているものであるが、その学年で扱った学習用語や学習活動で使用した語彙がまとめられている。学んだことを他の学習に活用する際に大変有効であると考えられる。

以上の三つの理由から、この地域にふさわしい教科書は光村図書の教科書であると報告する。

○国語については、光村を採択するということがよいか。

**※委員一同同意**

○書写の研究報告を行う。報告書の3ページを見てほしい。

002 東書 新しい書写

011 学図 みんなと学ぶ 小学校書写

017 教出 小学書写

038 光村 小学校書写

116 日文 小学書写

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は光村図書の教科書であることを報告する。理由は3点ある。

一つは、各教材の学習のポイントがシンプルに見やすく示されているとともに、どのように学ぶのか学習の流れも分かりやすくなっているからである。調査報告書の4ページ、3年生の12ページ「横画」を見てほしい。3年生における毛筆学習の導入の教材である。筆遣いに気を付けて「横画」を書く学習であるが、始筆、送筆、終筆のポイントが感覚的に理解できるように示されている。下段には学習の進め方が示され、学びやすく教えやすい構成になっている。

第2の理由は、書写で身につけた力が国語科や他の教科の学習、更には日常生活でも生きて働かせることを意識した編集となっていることである。具体的には、6年生19ページを見てほしい。各学年とも、他教科や日常生活を意識した教材が設定されているが、特に6年生では、これまで学習したことを日常の中でどのように生かしていくかがまとめられており、書写学習の成果を子ども自身が実感し、活用できるようになっている。

第3の理由として、あくまでも学び手である子どもの立場に立ち、発達の段階に応じた無理のない学習活動が展開されていることである。それは特に1年生教科書に顕著に現れている。1年生教科書1ページを見てほしい。ここでは、子どもは自分の名前を丁寧に書く。次のページでは、書写体操を行う。更に6ページからは鉛筆の持ち方を丁寧に学ぶ。また、10ページからの平仮名の書き方では、イラストでポイントが示されていたり、書き込み欄があったり、自己評価する欄があったりと、どの子も無理なく楽しんで学習できるように工夫がされている。

以上の三つの理由から、この地域にふさわしい教科書は光村図書の教科書であると報告する。

○書写と書道の違いは何か。3年生の筆遣いが鉛筆とは違う。

○書写は文字のとおり写すというものがある。正しい文字を認識し、正しい文字を書く。書道は、様々な流派があり、それぞれの書き方をする。小学校では、基礎となる書写を学習する。

○書写については光村を採択するということがよいか。

**※委員一同同意**

○社会の研究報告を行う。報告書の5ページを見てほしい。

002 東書 新しい社会

017 教出 小学社会

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は東京書籍の教科書であることを報告する。理由は、2点ある。

一つは、子どもの実生活・実社会とのつながりを大切にした構成となっており、よりよい社会づくりのために参画・貢献しようとする意欲や態度を養うことができる内容だからである。具体的に説明する。4年の32、33ページ「住みよいくらしをつくる」を見てほしい。ここでは、子どもたちがまちの様子を俯瞰し、水道、電気、ガス、ごみ処理、下水処理といった自分たちの暮らしを支えているしくみや人々に気付くことができるよう工夫されている。児童は、気付いたことをもとに実生活・実社会を振り返ることで、主体的に学習問題を考え設定することができる。また、6年歴史編の128、129ページ「長く続いた戦争と人々のくらし」を見てほしい。ここでは、原子爆弾投下後の写真とあわせて現在の原爆ドームや平和記念式典の様子が資料として掲載されている。137ページ以降においても同様に現在の写真が掲載され、平和への祈りが受け継がれていることを明示した構成となっており、実社会とのつながりを意識することができる。さらに、4年72、73ページを見てほしい。ここでは、ごみ処理に関する単元のまとめにおいて、学習したことを生かして今後の実生活で自分たちにできることを話し合うよう導いている。よりよい社会づくりのために、今の自分たちにも取り組むことが可能な参画方法を具体的に考える場を設定し、日常的な実践を意識化させることで、「学びに向かう力・人間性等」の涵養へとつながっていく。

もう一つの理由は、社会的な見方・考え方を効果的に働かせることができるよう工夫されていることである。新学習指導要領には、基本方針の一つ「主体的・対話的で深い学び」の鍵として、各教科特有の「見方・考え方」を働かせて学ぶことが示されている。小学校の社会科では、「社会的な見方・考え方」とおさえ、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり総合したり関連付けたりして学んでいく。本書では、単元ごとに有効な見方・考え方が、児童の発達の段階を考慮した分かりやすい表現で随所に繰り返し明示されている。具体的に説明する。3年の18ページ「学習の進め方」の「活用のポイント」を見てほしい。ここでは、「広がり」「関係するところ」等、見方・考え方を児童にとって分かりやすい言葉に置き換えられ、アニメキャラクターの図柄で区別しながら説明されている。これに基づき、各ページに見方・考え方が明示されている。具体的には、21ページを見てほしい。「広がり」という見方でドラえもんが「港のあたりの海岸線がまっすぐなのは、どうしてかな。」と問い掛けている。このような問い掛けの形で表記されていることにより、児童は受け身ではなく、自分たちが抱いた疑問を出発点にしてより深く追究していくようになる。また、同じく3年の99ページ「火事からくらしを守る」を見てほしい。ここでは、「消防署の人たちはどのような取り組みをしているのでしょうか」というめあてをもち、児童は消防署へ見学に行く。そこで調べた内容を多角的な視点で整理・分類し、関連付けて考えられるように例が示されている。グループで視点を定めて整理、考察したことを全体で共有し関連付けていくジグソー学習を効果的に活用することもできる。これも、「主体的・対話的で深い学び」の具現化につながるものである。5年上73ページ「くらしを支える食料生産」でも同様の学習がしやすく工夫されている。

以上の二つの理由から、この地域にふさわしい教科書は、東京書籍の教科書であると言える。○東京書籍だけが6年で分けられている。それはどんな意図があるのか。どういう授業展開をするのか。

○他者では、歴史が入っていて、その後に公民が入っているというものがある。2冊に分けるこ

とで、児童の実態に合わせやりやすくなっている。

○学校からの意見でも、内容で分けるからやりやすいという意見がある。

○年間の流れはどうするのか。

○年間の流れは様々である。子どもたちの実態や学校の計画に応じて変わっていくが、年間計画の例などが示されるため、参考にしながら進めることができる。

○教科書が別冊になっていると分かりやすい。

○流れの連続性から考えると、小学校が東書ということであれば、中学校も同じになるので小中一貫の教育ができるのか。

○同じでなければいけないということはない。

○同じ方針でやっていけることはよい。小学校と中学校が一致していると、一貫性をもって指導できると思う。

○そこは大きく変わるということも考えられる。あまり関連性ばかり考えるのではなく、どこかで区切りをつけることも大事かもしれない。

○研究会の中でそういう意見は出たか。

○研究会の中でそういう意見が出たかまでは確認できていない。ただ歴史は、小学校で学び、中学校でも学ぶ。同じものを同じような形で学んでいくことが有効な場面もあれば、切り替えて学んでいくことが有効な場面もある。中学校の採択が来年度あるが、中学校の視点で見たときに、どういったものであるべきかということを考えていく必要がある。来年度そういったところが話題になるかもしれない。

○螺旋型の理解をしていくことが大事である。社会や理科については、小学校と中学校で同じことを学んでいくが、関係性については考えていかななくてはならない。

○社会については、東京書籍を採択するということがよいか。

#### ※委員一同同意

○地図の研究報告を行う。報告書の7ページを見てほしい。

002 東書 新しい地図帳

046 帝国 楽しく学ぶ 小学生の地図帳

二つの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は帝国書院の教科書であることを報告する。理由は、2点ある。

一つは、目的に応じて効果的に活用でき、位置や空間的な広がり等、社会的な見方を働かせることができる内容だからである。具体的に説明する。23、24 ページを見てほしい。ここでは、「広く見わたす地図」として、中部・関東地方の概観を捉える地図が掲載されている。一方、51、52 ページ、そして、53、54 ページと、中部地方の詳細を捉える地図が掲載されている。各学年の学習内容に応じて活用する地図を選択することで必要な情報を収集しやすくなる。また、その目的である、「位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉える見方・考え方を養う」という点においても配慮された内容である。

もう一つの理由は、地図の見方や使い方、基本的な知識を習得しやすい構成となっていることである。具体的に説明する。この度の学習指導要領の改訂では、3年から地図帳が給与されることとなった。本書は、3年生の児童にとって学びやすい構成となっている。7～14 ページを見てほしい。ここでは、「地図のやくそく」と項を立て、地図そのものの定義やよさにふれながら見方

や方位、地図記号、距離の求め方といった基本的な知識について説明されている。また、15～18ページを見てほしい。ここでは、「地図帳の使い方」として、記号、色、索引、縮尺について丁寧に説明されている。いずれも、漢字にふりがながふってあり、言語力の差に関係なく活用できるように配慮されている。このように、地図を活用した学習の導入期において観点ごとに分かりやすく学べることで、児童は地図に親しみ、主体的に活用することができるようになる。

以上のことから、この地域にふさわしい教科書は、帝国書院の教科書であると言える。

○15 ページから浜松から磐田が掲載されている。これはどうしてか。

○地域性があると子どもたちにとっても親しみやすい。以前からも掲載されていることはある。

○教科書は地区によって違う種類が用意されているのか。

○そういうことはない。

○全国で同じというのは素晴らしい。

○とても分かりやすい。

○説明しやすい地域だからかもしれない。

○他教科で見付学校等が掲載されたという事例はある。

○ながめているだけで楽しいというよさがある。飽きないものである。

○地図については、帝国書院を採択するというだけでよい。

#### ※委員一同同意

○算数の研究報告を行う。報告書の8ページを見てほしい。

002 東書 新しい算数

004 大日本 たのしい算数

011 学図 みんなと学ぶ 小学校算数

017 教出 小学算数

061 啓林館 わくわく算数

116 日文 小学算数

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は学校図書の教科書であることを報告する。理由は2点ある。

一つは、子どもが該当の教科書を使って、数学的な見方・考え方をどのように育んでいくかが明確になっているからである。新学習指導要領では、算数科の大きな目標として、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。」とある。「数学的な見方・考え方」とは、「事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、総合的・発展的に考えること」である。端的に言えば、数や形及びそれらの関係に着目し、根拠を基に筋道を立てて考えることだと言える。具体的に説明する。2年生の上の7ページを見てほしい。該当の教科書では、2年生から6年生まで一貫して、九つの数学的な見方・考え方を、キャラクターを用いて身に付けていけるよう工夫されている。同じく47ページを見てほしい。2桁ひく2桁の筆算の学習では、右下にキャラクターが表示してあるように、「たし算の時はどうしたのか」と思い出させることで、自分で解けるように促し、今までやったことと同じように考えるという数学的な見方・考え方に気付かせ、身につけていくことができる。

第2に児童の発達の段階への配慮がされていることである。該当の教科書は、他者の教科書と

比べ、横幅が長い AB 判となっている。1 ページの文字の分量に余裕があり、余白が十分にある。そのため、一つ一つの文章をはっきり読むことができ、理解が高まる。具体的に説明する。学校図書の 3 年生の上の 90 ページと教育出版の 3 年生の上の 85 ページを見てほしい。棒グラフの学習である。他の教科書会社は 1 ページに 2 問の問題が掲載されているが、学校図書は、1 ページに 1 問となっていて、見やすく子どもが問題に取り組みやすいよう工夫されている。授業の中では、このページのように、教科書に直接書き込むことがある。小さな文字を書くことが苦手な子どもにとって、ます目や枠が大きく、余白が多い教科書の作りになっていると、書き込むことも容易となる。

以上、二つの理由から、この地域にふさわしい教科書は、学校図書の教科書であると報告する。  
○比較すると書きやすい、整理しやすいということがある。しかし、指導の面で質量に幅がある。その点はどうか。

○内容面として、学習指導要領で定められたものについては、どの教科書もおさえられている。どう扱うかという点がポイントになるが、学校図書については、大きくなって書き込みやすいという点がある。また、報告にあるとおり、考えさせること、見方・考え方を大切にしている点が随所にある。

○今は 3 年生という視点で見ると、量をこなすより質をとということが分かる。しかし、一方は 2 問で、もう一方は 4 問という訓練の面で課題が生まれるのではないか。

○分度器を使う際、広さによって使いやすさが変わる。必要なものを必要な量できるようになっている。

○高学年は問題が多いように感じた。じっくりしっかりできるようになっているのか。

○量を用意しておくことはされているが、記号で最低限これだけやっておけば、すべての場合に取り組みるといっても整えられている。時間があれば量をできるようになっている。

○6 年生に別冊があるが、これはどういう意味があるのか。0 より小さいマイナスなど、中学校で習うものを扱っているのか。

○3 学期に扱われることが多い。中学校の学習への基礎となるものであったり、数学的な思考を統合的に扱うものであったりする。必ずしもやらなくてはいけないものではないが、それをやることによって子どもたちに育てたいものを先ほどの話にあったようにスパイラルで育てていく。

○思考を育てていくということは、本当に大事な部分である。

○教科書の他に教師がプリントやドリルをやらせるということはある。だから、基本的なものが丁寧に扱われていた方が子どもにとってはよい。

○この教科書は大人が見てもおもしろい。

○別冊は発展学習ではないが、補充等をしていくことができる。

○これまで学んだことを丁寧に確実に理解できるような構成となっている。選択として扱うこともできるようになっている。

○一人ひとりの学びの状態に合わせられるようになっている。

○知っているかということではなく、思考を育てていかななくてはならない。

○算数については、学校図書を採択するということがよいか。

#### ※委員一同同意

○理科の研究報告を行う。報告書の 11 ページを見てほしい。

- 002 東書 新しい理科
- 004 大日本 たのしい理科
- 011 学図 みんなと学ぶ小学校理科
- 017 教出 みらいをひらく小学理科
- 026 信教 楽しい理科
- 061 啓林館 わくわく理科

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は東京書籍であることを報告する。理由は3点ある。

一つは、単元の学びを児童が見通しをもって行うことができることである。3年生の教科書6ページを見てほしい。3・4年の教科書では、どの単元の導入も3ページを使っており、児童の自然現象との触れ合いを重視している。「レッツスタート」で具体的な実験・観察の方法を示し、単元を通した児童の「思い」や「問い」をもたせている。8ページを見てほしい。問題づくりの場面における対話の具体例を示し言語活動を充実させることにより、新学習指導要領に示された「主体的・対話的な深い学び」を実現することができる。5・6年の教科書では、単元の最初に「学ぶ前の私」、単元の最後に「学んだ後の私」を示している。6年生の教科書では、13ページに「学ぶ前の私」が、29ページには「学んだ後の私」があり、学びの振り返りができる構成になっていることで、単元を通して子どもの主体的な学びができるよう工夫されている。また、単元の学習が終わったときに、自らの成長に気付くことができる。6年生の教科書14ページから16ページを見てほしい。ページの左側に問題解決の過程をつないだ「学びのライン」により、見通しをもって主体的な学びを進めていくことができる。

次に、「理科の見方・考え方」を「理科のミカタ」として明示していることである。6年生の教科書の12ページを見てほしい。新学習指導要領で示された問題解決学習の過程で、児童が働かせる「理科の見方・考え方」を「理科のミカタ」として児童が理解できる表現で具体的に示している。新学習指導要領では、思考力、判断力、表現力等として、各学年で育成を目指す問題解決の力が示されている。また「理科の見方・考え方」を働かせながら、資質・能力を育成することが求められている。こうした「理科の見方・考え方」を具体的に示すことにより、たいへん分かりやすい構成となっている。

最後に、教科書のサイズがA4版の大きさとなっていることである。紙面が大きくなったことで様々な資料が大きさや配置を工夫して掲載され、また、問題やまとめ、専門用語の文字が目立つように工夫されている。3年生の教科書71ページを見てほしい。ホウセンカの成長をほぼ実物大の絵で示し植物の成長について実感をもってまとめることができる。6年生の教科書12ページを見てほしい。単元の導入のページにはすべての漢字に振り仮名がつけられ、様々な特性をもった児童が学びへ向かえる配慮がされている。6年生の教科書25ページの「学びを生かして深めよう」や27ページの「理科のひろば」を見てほしい。これらは、問題を解決する学びの終末に設定されており、学んだことを生かして日常生活の事象などについて考え、説明させている。それにより、習得したことが使える知識となり、深い学びが実現できる。

○理科のものごとの見方・考え方という点で東京書籍が新しい理科というタイトルをつけている。これからは科学的思考が大きな柱となっているはずである。

○見方・考え方という点で、視点として、量的に見る、関係を見る、質的に見る、実態を見るのか、共通性があるのか、多様性があるのか、時間的に見るのか、空間的にみるのかなどがある。



そういった見方をこの教科書は示している。考え方も比較して考えるとか、関連づけるとか、条件を変えてみるとか、多面的に考えてみるとか、子どもたちに分かりやすい言葉で理科のミカタという言葉で示されている。

○学習指導要領解説にも見方・考え方として今のような内容が整理されている。学校からの意見が多かったのが、それを子どもにも分かりやすく示しているのがよいという意見であった。新しいというのは、東書の教科書のタイトルについているものである。

○理科については、磐田市は東京書籍を採用するということによいか。

#### ※委員一同同意

○生活の研究報告を行う。報告書の13ページを見てほしい。

002 東書 あたらしいせいかつ

004 大日本 たのしいせいかつ

011 学図 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ

017 教出 みんななかよし

026 信教 せいかつ

038 光村 せいかつ

061 啓林館 わくわくせいかつ

116 日文 わたしとせいかつ

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は東京書籍の教科書であることを報告する。理由は3点ある。

一つは、単元構成である。どの単元も思いや疑問から始まっていて、ふき出しのせりふなどで児童の見方・考え方、試す力を育てる展開になっているからである。しかも、活動が限定されることがなく、この磐周地区内でもいろいろな地域の実態に応じて、児童の思いを大切にしながら学習を展開していくことができる。具体的に説明する。下巻の33ページ「生き物なかよし大作戦」見てほしい。34ページに「どんな生き物がいるのかな」、36ページに「どんなところにいるのかな」、38ページに「どんな世話をすればいいのかな」とあり、40ページに生き物図鑑がのっている。実態に応じて選択できる他にも広げられる問いになっている。

次に縦と横のつながりである。幼児期からの円滑な接続と3年生の学習への縦のつながり、他教科で学習したことを生かす横のつながりがあるからである。上巻4ページから9ページを見てほしい。「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」が言葉で明示されているため、スタートカリキュラムにおける幼小の円滑な接続を教師も意識して指導できる。また幼児期を想起させるせりふがところどころに入っている。上巻2ページを見てほしい。「ほいくしょ」という言葉が出てくる。同様に30ページには「こども園」74ページには「ようちえん」が出てくる。児童にとっても思いがつながっていく。3年生への接続として下巻104・105ページを見てほしい。社会科、理科などの教科やリコーダー、コンパスなど3年生の学習につながる写真もある。また、他教科の学習が使えるような横のつながりが自然に組み込まれている。下巻31ページには、国語とのつながりが、53ページには算数とのつながりが載っている。

最後に、大きさである。A4サイズ版でイメージ写真やめあてとなる問いの言葉が大きくて目に入りやすい。低学年の児童にとって、活動への思いや気付きを促す配慮がされている。

○上は1年生で使って、下は2年生で使うのか。

- 1年の前期に上、後期に下が給付される。学校によって様々な使い方が考えられる。
- 2年生で生活科をやらない学校はあるか。
- ない。
- この教科書の内容をやらないということはあるか。
- まったく同じ活動とは限らない。内容と関わることを扱う。生き物と町探検を複合的に扱うということもある。教材をそのまま扱うとは限らない。
- 生活科の年間計画は独自に計画されているのか。
- 地域性や学校の行事、他学年や異校種などにより、学校によって違いは出る。
- 書かれている内容については、そのままやらないということであるか。
- 学校探検などは、やっているはずである。
- その通りやることはない。例えば、算数のようにそのまま扱うということは少ない。社会科でも、他県のことを静岡県に当てはめて考えることがある。それに近い。
- 各学校に応じて素材をアレンジしながら内容に取り組んでいる。学校によっては、虫を中心に扱うところもあるし、地域探検を中心に扱うところもある。地域人材を中心に扱うところもある。3年の社会でも教科書を参考にしながら副読本の「わたしたちの磐田」を使いながら学んでいく。
- テーマは秋を見つけてといったように統一されている。教材が各学校によって違うはずである。
- 目次にあるものが教えたということか。
- 生活科における見方・考え方がある。周りの人や自然とのつながりなど、環境によって変わる。
- 生活科については、磐田市は東京書籍を採択するということでよいか。

**※委員一同同意**

- 音楽の研究報告を行う。報告書の16ページを見てほしい。

017 教出 小学音楽 音楽のおくりもの

027 教芸 小学生の音楽

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は教育芸術社の教科書であることを報告する。理由は3点ある。

一つは、新学習指導要領が求める三つの資質・能力を無理なく習得できるように題材・教材の配置を工夫しているからである。具体的に説明する。調査報告書の2番にも示した通り、歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりの教材がバランスよく配列されている。3年生の48ページからの「いろいろな音のひびきをかんとろう」を見てほしい。ここでは、音色のよさやおもしろさに気付くと共に、演奏の仕方を工夫することをねらいとしている。とかく一つの曲を深く学ぶことでねらいにせまりがちであるが、この一つの題材の中に、鑑賞曲、器楽曲、歌曲、そこからの音楽づくりが展開され、様々な活動からねらいにアプローチできる配列になっている。

次に、児童が音楽に親しみを持ち、見通しを持って学びを積み重ねていくことができるように編集されているという理由がある。1年生の2ページを見てほしい。1年間で学習する内容がイラストで示されている。6年生の4、5ページも見たい。ここにも同じように1年間で学習する内容がイラストで示されている。この絵の中には、各学年で身に付けてきたことが、学びの跡として示され、中心にある「音楽の木」が成長し、実を付けている。また、同じキャラクターが6年間を通して登場し、思考を促すためのアドバイスをしている。

最後に、児童の発達や特性に配慮して編集されているという理由がある。1年生の8、9ペー

ジを見てほしい。入学して間もない、ひらがなも学習していない児童には、文字の多さは負担になる。他者と比べると教育芸術社はイラストを主とし、児童が音楽に親しめるように編集している。学びの内容を写真や絵で分かりやすく端的に示しているという特徴がある。

○QRコードが付いている。

○示されるものは各者違う。そのページに関連したものが示される者もあれば、ホームページに移動してそこからリンクで探すというように、様々な形がある。

○データベースは文部科学省と関係があるか。

○それぞれで作成したものである。子どもによっては、リンク集があっても、使い勝手が悪いものになってしまう。例えば、動画にすることが分かりやすければ、その動画のみを示すという手法がある。

○音楽であれば、家に帰って聴ける。

○音楽は、教育芸術社を採択するというだけでよいか。

### ※委員一同同意

○図画工作の研究報告を行う。報告書の17ページを見てほしい。

009 開隆堂 図画工作

116 日文 図画工作

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は日本文教出版の教科書であることを報告する。理由は3点ある。

一つは、自然や生活、社会の中の形や色などに着目し、発想を広げられるような「ひらめきポケット」というページが特設されていることである。1、2年下の34、35ページ「ならべる」を見てほしい。児童が材料や対象に働き掛けたいくなる行為を、発達の段階に合わせてテーマにしている。私達が普段何気なく目にしている靴箱や野菜売り場、寿司桶などを提示して、形や色に着目すると、並んでいることによる美しさに気付くことができる。さらに、身近な文房具が並んでいることで、児童が「やってみたい。」と思い、体を動かしながら考えることができるようなページになっている。1年生では「さわる」、2年生では「ならべる」、3年生では「つなげる」など、児童が材料や対象に働きかけたいくなる行為をテーマにしている。そのため、造形的な視点で捉えることができ、実際に試しながら発想を広げられるため、新学習指導要領の目標に迫るためにも大切なページになっている。

その次に、学年間での学びがつながるように、題材が系統的に設定されていることである。立体に表す活動「粘土」で説明する。1、2年上18、19ページの「ひもひもねんど」を見てほしい。粘土をひもにして、どこまで伸びるのか、どんな形ができるのかを楽しむ。2年生では、握ってできた形を生かして発想を広げながら、何ができるのかを試していく。3、4年下14、15ページの「立ち上がれ！ねん土」を見てほしい。手や用具を使って新しい形にチャレンジしていく。5、6年下28、29ページの「固まった形から」を見てほしい。液体粘土のような多様な粘土を使い、想像を広げていく。このように、6学年を通して同じ材料や用具に繰り返し関わることができるよう題材を系統的に設定してあるため、発達の段階とともに、学びを深めていくことができる。

次に、児童が能動的に鑑賞できるように、児童の発達に合わせたテーマを「教科書美術館」として掲載していることである。3、4年上2～4ページを見てほしい。「しぜんの色」というテーマで集められたものが掲載されている。2ページの「土のライブラリー」は、いつも何気なく見

ている土が、こんなにも多様で美しいことに気付くと思う。このように、巻頭3ページにわたり、児童の発達に合わせたテーマで身の回りのものから美術作品まで幅広い絵や写真が掲載されている。見て楽しい魅力的なページが児童の感性に働き掛け、能動的な鑑賞を促す。また、それぞれが感じたことを交流することで対話が生まれ、言語活動の充実にもつながる。

○図画工作については、日本文教出版を採択するということがよいか。

**※委員一同同意**

○家庭の研究報告を行う。報告書の18ページを見てほしい。

002 東書 新しい家庭5・6

009 開隆堂 わたしたちの家庭科5・6

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は開隆堂の教科書であることを報告する。理由は2点ある。

一つは、児童にとってわかりやすい配慮がされていることである。具体的に説明する。開隆堂の52、53ページ、東京書籍44、45ページを見てほしい。ここには、だしをとってみそ汁を作る活動の過程が記載されている。開隆堂は、教科書の中央部分に調理手順が色付きで書かれている。すべて横流れのレイアウトのため、児童が目で追いやすくなっている。調理だけでなく、他の題材の活動でも、レイアウトが統一されているため、児童が主体的に活動を進めることができる。また、開隆堂の53ページ上部には、QRコードが掲載されている。これを読み取ることで、ここでは、だしの取り方から完成までの手順を動画で確認することができる。実習前に調理のイメージを持たせたり、実習中に手順を確かめたりするのに効果的である。

次に、各題材の導入で日常生活から課題を見出す問い掛けをし、児童に目的意識を持たせ、課題解決のための三つのステップを大切にしていることである。具体的に説明する。開隆堂の90ページを見てほしい。ここでは、導入で「なぜそうじをするのだろう」と児童に投げ掛け、そうじをするの意味に意識を向けさせている。これが第1のステップである。第2のステップとして、用具や掃除の仕方の基礎基本を学んでいく。そして第3のステップとして、わかり、できるようになった掃除の知識や技能を、自分の生活への工夫と結び付け生かしていく学習の流れになっている。このように全ての題材が、三つのステップで構成されていて、はじめに持った課題を解決しようとする学びが実現できるようになっている。

○他の教科へのつながりがある。さらに動画で示しているところがよい。

○家庭は、開隆堂を採択するということがよいか。

**※委員一同同意**

○保健の研究報告を行う。報告書の19ページを見てほしい。

002 東書 新しい保健

004 大日本 たのしい保健

207 文教社 わたしたちの保健

208 光文 小学保健

224 学研 みんなの保健

学習指導要領の保健領域では、自己の健康の保持増進や回復等に関する内容を明確化するとともに、「技能」に関連して、心の健康、けがの防止の内容の改善を図ること。また、運動領域との

一層の関連を図った内容等について改善を図ること。」の内容を改善の具体的事項としている。これらの事項について、それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は東京書籍の教科書であることを報告する。理由は、3点ある。

まず、該当の教材は、付きたい力とそのための学習活動が明確であり、主体的・対話的で深い学びにつながる内容になっているからである。具体的に説明する。調査報告書の19ページ、5、6年生の20ページ「けがの防止」を見てほしい。単元の導入段階のページに、単元の目標とそれに迫る指導内容が明確に示されている。また、「つなげよう」では、リングマークで他学年や他の教科とのつながりを示している。このことから、教師だけでなく児童も付きたい力を明確にした上で見通しを持ち、他教科や他領域等との関連を意識して学習を進めることができる。続いて、21ページから24ページを見てほしい。毎時間児童の思考に沿った四つのステップが設けられ、対話活動を取り入れ、思考判断しながら理解を深める学びが展開できるような構成になっている。

次に、5、6年生の16ページや44ページを見てほしい。新たに保健の「技能」として示された「心の健康」、「けがの防止」について実習ページを設け、実生活で活用できる技能を身に付けることができるように工夫されている。1ページを見てほしい。インターネットを活用して動画が見られる「Dマーク」コンテンツが豊富に用意され、「技能」を映像で確認することができる。これらを通して習得した知識・技能を活用し、課題を解決することができるようになっている。

最後に、運動領域との関連を図った内容について改善されていることである。3、4年生の42ページを見てほしい。心と体の健康と関連する様々な運動の例が具体的なイラストで示されており、自己の健康の保持増進や回復等に関する内容が充実している。生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することができるようになっている。

以上三つの理由から、この地域にふさわしい教科書は東京書籍であると報告する。

○保健の題材で飲酒や薬物があるが、以前からこういう内容は取り扱っていたのか。

○以前から入っていたが、充実してきた。

○がんの話など、充実してきている。

○薬剤師が各学校に行き講座を開くといったことが行われている。また、男女関係や発達の違いについては、養護教諭をはじめ教員が丁寧に指導している。

○心の教育も充実してきている。

○アクティブラーニングについて話していたのは、ここでいうステップのことか。

○ステップ1から3について、対話活動を取り入れながら思考を深めていくことを想定している。

○保健については、東京書籍を採択するというだけでよいか。

#### ※委員一同同意

○外国語の研究報告を行う。報告書の21ページを見てほしい。

002 東書 NEW HORIZON Elementary

009 開隆堂 Junior Sunshine

011 学図 JUNIOR TOTAL ENGLISH

015 三省堂 CROWN Jr.

017 教出 ONE WORLD

038 光村 Here We Go!

061 啓林館 Blue Sky

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は東京書籍の教科書であることを報告する。理由は3点ある。

一つは、各単元で外国語の必要となる4技能5領域が段階を追ってまんべんなく学べるようになっており、「何ができるようになるのか」が明確に押さえられているからである。具体的に説明する。調査報告書の21ページ、6年生の22ページ「Let's go to Italy.」を見てほしい。Starting Outで英語の音に出会い、24ページのYour Turnで対話の音声をモデルに重要表現を含む会話に慣れる活動を行う。26ページのEnjoy Communicationでは、ステップを踏んで表現を自然に身に付けながら単元のゴールへと向かう構成になっている。ここでは巻末コミュニケーションカードを作成し、友達と対話や発表をしたり、学びのポートフォリオにしたりする。また、常に別冊の絵辞典をそばに置き、毎時間の「スモールトーク」という短い対話活動や書く活動に活用させて、豊かな自己表現をすることができる。「Let's go to Italy.」のEnjoy Communicationでは、別冊16ページを活用して、国名や有名な場所、食べ物を紹介することができる。

次に、6年生の目次2ページを見てほしい。Open the Doorというまとまりが各学年三つある。5年生では自分、地域、日本、6年生では世界、中学校へと扉を開きながら、系統立てて学習が進められるように配列が工夫されている。例えば、6年生のOpen the Door 1では、30ページの「外国の人にメッセージを伝えよう」という目標に向けて、各単元でメッセージが伝えられるような活動を積み重ねていく。

最後に、6年生の48、49ページを見てほしい。各単元の終わりにあるOver the Horizonのページでは、児童が外国の文化を学んだり、日本の良さを再認識したりして、たくさんの異文化情報に触れることで、言語の背景にある文化に気付き、より深い学びに向かうことができる。ここでは、児童が環境について自分で考え、他教科の知識と融合を図りながら視野を広げていく。Over the Horizonはどのページも児童の「学びたい」という興味をかきたてるとともに、学び続ける心を育てることができる。これはまさに学びに向かう力、人間性等の涵養につながる場所である。

○外国語の教科書については、はじめての採択となる。

○中学校の場合は、学図である。学びのスタイルとして違うところはあるのか。

○大きな違いはないが、先ほど説明したとおり、目次のところで示されているとおり、中学校でもユニットがあり、チャプターがあり、活動が示されている。この教科書も同じようなスタイルである。大きな章で考え、付いた力を確かめていくようになっている。小学校と中学校の接続で問題なくできると考えられる。

○学びの構造は似ていて、慣れているからできるということである。

○他の者との違いは、別冊の絵辞典である。動作や食べ物など、グループごとに単語が配置されている。また、身の回りの英語表現や、授業で使う英語表現が掲載されている。クラスルームイングリッシュについて、同じようなものが中学校1年生の教科書の巻頭に掲載されている。小学校の別冊を中学校に持って行って活用することができる。

○これ1冊あればかなり学べるはずである。

○小学校で外国語活動を行っているため、かなり英語ができるようになっている。

○外国語については、東京書籍を採択するということがよいか。

**※委員一同同意**

○特別の教科 道徳の研究報告を行う。報告書の23ページを見てほしい。

002 東書 新訂 新しい道徳

011 学図 かがやけみらい 小学校道徳

017 教出 小学道徳 はばたこう明日へ

038 光村 道徳 きみがいちばんひかるとき

116 日文 小学道徳 生きる力

208 光文 小学道徳 ゆたかな心

224 学研 新みんなの道徳

232 廣あかつき みんなで考え、話し合う 小学生の道徳

それぞれの教科書を研究した結果、この地域にふさわしい教科書は光村図書の教科書であることを報告する。理由は3点ある。

特別の教科道徳では、児童が考え議論することで道徳的価値に対する理解を深めることが求められている。該当の教科書を使うことで、この考え議論する道徳の授業が取り組みやすいようになっている。具体的に説明する。2年生の28ページ「ぶらんこ」を見てほしい。ねらいとする価値への方向付けがされるように「今日、友達とどんなことをしたかな？」など低学年の児童でも考えやすい導入の言葉が示されている。そして、33ページにあるように終末には話し合いを深めるための視点が例示されている。この「考えよう話し合おう」のコーナーは、どの教材にも設定されており、話し合いの視点が適切に示されることでねらいとする価値に向けて、自分の考えを深めることができるようになっている。

次に、今回の道徳教育の改善に関する議論の発端となったいじめの問題への対応など、現実の困難な問題に主体的に対処する実効性ある力を育成していくことが求められている。この教科書では、いじめなどの現代的な課題を扱った教材が意図的に配置されている。具体的に説明する。4年生の41ページ「ひとりぼっちのYちゃん」及び45ページ「学級会での出来事」を見てほしい。身近に起こりうる題材を二つ続けて扱うことで、いじめを許さない心を確実に育む。そして、49ページのように自分事として考えさせるようなコラムが効果的に配置してある。なお、巻末においては教材の内容と他教科・領域や現代的な課題との関わりが示され、計画的・発展的に指導することができるようになっている。

最後に、児童の心に届く、視覚的な効果が高い教材が多く使われている教科書だからである。具体的に説明する。3年生の44、45ページを見てほしい。紙面を大きく使った挿絵が使われている。また、122、123ページを見てほしい。美しい風景の写真が使われている。このような挿絵や写真に心を揺さぶられ、児童は自分の思いや考えを素直に表現し、主体的に話し合うことが期待できる。

○命に関わる内容はどこにあるか。

○道徳の内容として、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事として、生命の尊さがある。すべての学年にある。1、2年生は生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること、3、4年生は自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること、5、6年生は自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることが示されている。

○光村は、国語もそうであるが、写真がきれいである。

○道徳については光村を採択するというだけでよい。

**※委員一同同意**

○中学校の特別の教科 道徳を除くすべての教科については、先ほど説明したとおり、教科書の新たな申請等がないため、令和元年度使用している教科書を、令和2年度も採択するということがよいか。

**※委員一同同意**

○以上で議案が終了した。進行に戻す。

○連絡事項に移る。事務局説明を願う。

○今後のスケジュールについて説明する。本日、磐田市において採択案の同意が得られた。今後2市1町の同意が得られたら、磐田周智地区の採択教科書が決まる。学校へは、来年度の教科書の準備のための需要数報告があるので、来週には校長宛に連絡を入れる予定である。

県教育委員会は、8月末に行われる教育委員会定例会で承認を得たのち、9月1日以降、全地区の採択教科書を公開する予定である。

本市においては、情報公開条例に則り研究報告書や採択結果については、請求に応じて開示する。本教育委員会議事録は、ホームページにて公表していく。

なお、本日の資料については、回収する。

○以上をもって、臨時教育委員会を終了する。